

JVMA通信

■ No.25 (2017年7月号) ■

(発行元)

Japan Valve Manufacturers' Association

一般社団法人日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

URL: <http://www.j-valve.or.jp>



第5回通常総会報告

当会第5回通常総会及び記念講演会が下記のとおり開催された。

■第5回通常総会

開催期日: 2017年6月9日(金)

場 所: 八芳園

出席者数: 74名(会員69名、来賓5名)

当日は、2016(H28)年度事業報告・決算報告並びに、2017(H29)年度事業計画・収支予算が原案通り承認された。

また、併せて役員改選及び定款改正(組織の改編に伴う名称変更)についても承認された。

■記念講演会 (上記総会終了後、同日開催)

テーマ: ものづくりで夢を叶える

講 師: 大坪 正人 氏 (株)由紀精密 代表取締役社長

公衆電話の部品を製造する町工場の3代目社長である大坪氏は、倒産寸前だった会社をさまざまな改革により、人工衛星の設計・製造、フランスへの進出など、業界問わず世界が目にするイノベーター企業に成長させた。これまでの苦労や自社が行ってきた転換についてご講演いただいた。

新役員一覧 (2017年6月9日より2年)

会 長	中村 善典 (金子産業株 代表取締役社長)
副会長	小林 公雄 (株キッツ 相談役)
〃	前田 康雄 (前田バルブ工業株 代表取締役社長) ※
〃	村井 米男 (株オーケーエム 代表取締役会長)
〃	中村 政弘 (オーエヌ工業株 代表取締役社長)
監 事	石田 貴嗣 (石田バルブ工業株 専務取締役) ※
〃	福山 信也 (株アイエス工業所 代表取締役社長) ※
〃	大野 高裕 (早稲田大学 理事・理工学術院 教授)
専務理事	濱崎 雅幸 ※

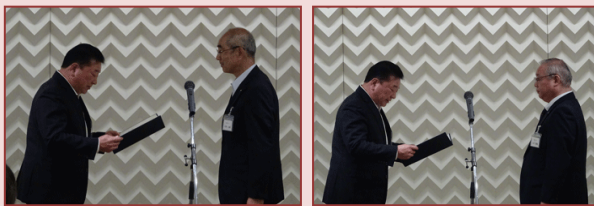
(※:新任)



講師:大坪氏



総会ギャラリー



↑ 当会委員会・部会事業活動において長年の功績があった2名に対し、「有功者表彰」を授与。(中村会長より受賞者へ感謝状と記念品を授与)
 有功者表彰 左: (株キッツ 真田寿美夫 氏(代理受賞:同社 小林相談役)
 右: (株タブチ 大谷泰重 氏



第5回通常総会集合写真



6/10(土):総会ゴルフ

← 本総会をもって交代となった比企前専務理事(左)の退任挨拶と濱崎新専務理事(右)の新任挨拶



■第5回通常総会報告

■JV賞受賞報告

～ 2016(H28)年度JV賞受賞者に (株)フジキン 中村 浩一 氏 ～
 長年にわたり、バルブ工業会広報活動に尽力

第5回通常総会終了後、引き続き「2016(H28)年度JV賞」についての報告が行われ、受賞者である(株)フジキン CS・マーケティング本部 AMG 中村浩一 氏に、中村善典会長から目録と記念のトロフィーが授与された。

中村氏は、現在では会員企業だけでなく、ユーザー、一般の方にも広く親しまれている「ばるちゃん」のグッズ制作の発案・企画の多くに携わり、また、工業会が出展した展示会全ての企画をとりまとめるなど、バルブの広報活動に尽力されたことが高く評価された。



受賞挨拶をされる中村氏

■JV賞■

JV賞は昭和63年に設けられた賞で、本会に寄せられた寄付金を基金として、その運用益により、毎年1名を受賞者として表彰している。

本会関係者を対象に、各部会、委員会、支部からの推薦による候補者を募集し、本会及び業界発展に大きく貢献された方に対し、記念品と賞金20万円を授与。(毎年12月に候補者を募集、翌年6月の通常総会で受賞者を表彰)



JV 賞を受賞して

(株)フジキン CS・マーケティング本部 AMG 中村 浩一

この度は、「JV賞」と言う、日本バルブ工業会におきまして、年間を通して、1社1名しか受賞できないと言う、非常に誇らしくもありまた、かなりプレッシャーとも言える、しかし、素晴らしい賞を戴けたこと、誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

この「JV賞」は、日本バルブ工業会の中で、錚々たる企業様、諸先輩方々が、日々それぞれの企業の中で、培ってきた技術を基に、バルブ業界の進むべき道そして、未来へ向けての羅針盤的な貢献をされた方々が受賞するものと考えておりました。バルブ部会、自動弁部会、水栓部会と、バルブの多岐にわたる重要なポストでそれぞれにWGを立ち上げ、細部にわたり、これまでの問題点を解決し、新たな技術への改革をはかって行く組織の集まりです。

そんな中、今回は、初めて広報委員会からの選出と聞き、驚きと、喜びが半々と言う複雑な気持ちでした。しかし、歴代委員長をはじめ、これまでの広報委員会メンバー各位がそれぞれ責任を持って、アイデアを出し意見交換をし、委員長がまとめ、責任を一手に背中に背負い、会長に上申頂き、スタッフは、伸び伸びと思いついて活動が出来ました。

技術的には、乏しいところもございましたが、今、大切なことは、日本バルブ工業会の活動の意義、そして、知名度アップによる世の中へバルブの重要性をアピールすることが重要と考えておりました。

費用対効果が、出ているかいないかの見極めに苦慮するところもございましたが、積極的に展示会に参加することが出来ました。また、「ばるちゃん」と言うキャラクターを創り、2次元から3次元へそして、動き回るゆるキャラまでもが完成致しました。

全て、一人では出来ない事です、田淵前会長そして、現会長の中村会長の最終ご判断を無くして今の広報委員会はございません。また、歴代の広報委員会の委員長の功績が今回の広報委員会の委員が「JV賞」を受賞することが出来た、下地を作ったと言っても過言ではございません。ご推薦頂いた、OKMの村井会長様、審査委員の皆様には、感謝と御礼しかございません。本当にありがとうございました。

これからも、日本バルブ工業会の発展と、バルブ業界の更なる発展、そして安全・安心に邁進してまいりたいと考えます。この度は、本当にありがとうございました。

最後に、小職がこのように自由に動き活動出来、そして受賞出来ましたのも、弊社CEOでもあります小川、そして専務取締役の三橋が居たからこそと感謝しております。

新・旧 専務理事あいさつ

■ 退任挨拶 ～41年を振り返って～

前・専務理事 比企 諭

1976年5月、縁あって日本パルプ工業会の事務局に就職、2017年6月30日をもって、41年間の勤務を終えることになりました。会員各位、事務局職員、関係方々等実に多くの方々に支えられて過ごした41年間であり、ほんとうに恵まれた環境の中で過ごした41年間でありました。改めまして、各位に心より感謝申し上げます。

反面、自分の能力不足、至らなさに各位にご迷惑をおかけしたことも多々あったことに対しまして、心よりお詫び申し上げます。

退職するに当たり、事務局の海上さんより、JVMA 通信に新旧専務理事のあいさつを掲載するので、なんでも良いから原稿を執筆してほしいとの依頼があり、さて何を書こうかと、改めて41年を振り返ってみると、いろいろなことが昨日のように思い起こされます。楽しかったこと、うれしかったこと、失敗したこと、悔しかったこと、後悔したこと……、でもやっぱりいい思い出しか浮かんできません。

なんでも良いとのことでしたので、思いのままに書くこと致しました。まとまりのない文章になるかと思いますが、ご容赦下さい。

事務局にお世話になるようになったのは、当時事務局で経理を担当していた、親戚筋に当たる鬼塚さん(故人)より、事務局で欠員が1人出たが来るかと誘いを受けたのがきっかけです。当時、都内の食品問屋に就職して1年目、個人商店を中心に営業を担当していたが、元来、人にモノを売るというのが苦手で、当然、営業成績は振るわず、やる気をなくして転職を考えるようになっていた時だったので、即断で採用を願いました。

採用時に、麻雀・ゴルフ、付き合える程度の酒と、冗談のような真面目な業務命令を受けました。麻雀は学生の本分であったことから問題なくクリア、ゴルフは全く経験がなかったが、野球の経験が長かったので止まっているボールを打つなんて簡単なんて甘く見ていたが全く逆。事務局就職当時、職員は9名(男性7名、女性2名)のうち、ゴルフをやる人は6名(男性5名、女性1名)、通常総会終了後の5月下旬の土・日1泊2日で職員旅行が慣例となっていたが、ゴルフ組は金曜日の業務終了後、レンタカーでゴルフ場近くの宿泊施設に泊まり、土曜日のプレイ後、夕刻にゴルフをしない職員と合流して、職員旅行の始まりとなるのが常でありました。初めてのゴルフ経験は、就職後間もない5月下旬の職員旅行時、場所は福島県の白河のゴルフ場であったと記憶しています。プレイ日の3日前に、事務局の先輩に付き合ってもらい、御徒町のゴルフショップでクラブ・バッグ・靴等一式を購入、元来左利きであるが、当時は左利きのクラブは割高で、種類も多くなかったことから、先輩の“初めてやるんだから右でやれ”との一言で、右用のクラブで始めることになりました。初めてのゴルフは散々で、空振りも当たり前、右へ左へ、まともに前に飛ばず正に“ゴロフ”、そうだろう、買ったクラブをゴルフ場で初めて開梱し、一度も練習せずコースに出ただけから。ゴルフ経験者からしたら、“ゴルフをばかにするな”と怒鳴られているところだろう。ゴルフを趣味の一つとして自称しているが、才能のなさに加えてほとんど練習もしないのだから、当然上達せず、工業会でのゴルフ歴はへたで終わりました。しかしながら、広々とした芝生の中でのプレイの気持ちよさ、プレイ後の皆とのゴルフ談義、ほんとうに楽しかったことを思い出します。工業会での最後の行事が、岐阜関カントリー倶楽部での水栓部会の懇親ゴルフ大会だったのも印象深いものでした。ゴルフとの最初の出会い、工業会最後の大会、良い思い出として大切に、下手なりに趣味の一つとして付き合っていたいものです。

業務命令の最後が酒です。元来あまり酒は飲めなく、飲むと真っ赤になって眠くなってしまふ方であったが、会議後の懇親会、プライベートでの飲み会の付き合いなど、回を重ねる毎に酒量が増し、今では酒を飲まない日がない毎日です。

酒の効用を実感した例が、ある会議のこと、まったく懇親会はせず、会議が終わるとそこで解散であったが、委員の一人が交代することになり、会議後、退任する委員を交えての送別宴会、酒が入った話題の豊富さに驚愕。会議ではあまり発言のない人の饒舌に驚き、真剣な話に夢中になり、一番驚いたのが、懇親会後に開催した会議の始まり前です。それまでは、会議前に集まっても私語ひとつなく静かに会議を待っていた状況が、会場に入って来て各自が“この前はどうも”とあいさつをしよう、前とは雰囲気全く違ったのです。当然、会議の進行状況は順調です。しかし、酒も呑み過ぎると失敗は付きものです。酒での失敗を数えたらきりがありません。迷惑をかけてしまったことも数えきれません。呑み過ぎた翌日は、今度から自重しよう。と思いつつまた呑んでしまう、の繰り返しでした。退職した今では、飲み会の機会も激減し、一人寂しく健康的な酒を呑んでいます。やはり、酒は皆とわいわい楽しむのが一番と思うこの頃です。

以上で退任のあいさつを終わりますと言ったら、海上さんの怒る顔が目に見え、若干、業務についても振り返ってみようかと思いません。

業務の最初の担当は、国際標準化事業、ISO、IEC のパルプに関する国際規格作成委員会での会議の案内、資料の用意、議事録の作成、国際会議出席経費に係る補助申請・精算手続き、会議後の懇親会の世話などを行いました。資料はすべて専門用語での英文、しかも、設計計算などで用いるギリシャ文字が読めない[α(アルファ)、β(ベータ)、γ(ガンマ)]位までは何とか分かるが、後は、ちんぷんかんぷん。どうなるかと心配したが、習わぬ門前の小僧とは良く言ったもので、1年も過ぎると、なんとか広く浅くではあるが、ある程度は理解できるようになりました。当時は、今では当たり前のメールもなく、幹事国などへの連絡は、すべて文章で和英辞典を片手に、慣れない英文タイプライターで何度も修正しながら作成。急ぎの場合は、JR 浜松町駅近くの世界貿易センター内にある国際電話電報局で、今では死語となったテレックスによる連絡。また、国際標準化事業で思い出深いのが、1981年6月、わが国で初めての国際会議開催となるISO/TC153 東京にこぎつけることができました。

会議は英仏2カ国語随時通訳方式で始めたが、途中から時間節約のため英語のみに変更。開催国事務局として最も大変だったのが、会議後の議事録案の作成、翌日の会議前までに英仏2カ国語で用意しなければならない。日本側委員として参画していた、山武ハネウエル(株)の椎木 晃氏(現・株SANTAK 代表)の全面的な協力の下、日付が替わる時間頃まで議事録案の作成作業を行い、二人で六本木のビジネスホテルのツインルーム1部屋で夜を共にし、翌早朝から前日会議の議事録案の確認作業を行い、なんとか9時から始まる会議に間に合うような状態の中、無事に会議を終えることができました。会議後に思ったことは、椎木さんには大変失礼なことで、せめてホテルは個人

■新・旧 専務理事あいさつ

部屋にすべきだった。後に、椎木さんにそのことを話したら、「良い思い出話“になるでしょうと笑って話してくれたのに救われた思いでした。

41 年間で事務局に勤務していれば色々な出来事に出会うことになりますが、自身にとって一番の大きな出来事は、工業会組織の大改編、即ち、1979 年 7 月 30 日付の任意法人から公益法人としての社団法人への移行、2013 年 4 月 1 日付の一般社団法人への移行に立ち会ったことです。特に、一般社団法人への移行に際しては、当工業会事務局当事者として理事会各位の協力の下、公益目的実施事業計画案の策定、定款改正案の策定を行い、経済産業省、内閣府との折衝を経て、なんとか、2013 年 4 月 1 日付で一般社団法人へ移行し、当初の予定どおり 4 年後の 2017 年 3 月 31 日をもって公益目的実施事業計画を終えた後、専務理事を退任し、濱崎新専務理事にバトンタッチ出来たことです。

次に思うのが、「パルプ産業ビジョン」の策定・実施です。2007 年に、10 年後におけるわが国のパルプ産業を見据えてのアクションプログラムを策定後、第 1 期～3 期まで実施計画内容の修正などを行いながら 10 年間にわたって実施。当工業会の事業活動が大きく変わる契機となったのが「パルプ産業ビジョン 2007」ではなかったでしょうか。

準備作業を含め、実質 4 年間にわたる精力的な編集作業を経て制作された大作「新版パルプ便覧」、パルプキャラクター「ばるちゃん」を活用した広報活動など、「パルプ産業ビジョン」の策定がなされなかったら実施出来なかった事業のように思われます。

海外視察での印象も思い出深いものがあります。1981 年 3 月の自身初めての海外視察(ドイツ、フランス、イタリア)、象での大歓迎を受けた 1981 年 11 月のインド視察、開発初期の大連工業団地の視察を含む 1988 年 6 月の中国視察、ドイモイ活動による経済活動の躍進を目指す 1993 年 11 月のベトナム視察、中国・ベトナムはその後 10 年ほど経過してから再度視察に訪れたのですが、あまりの変わりように唖然としたのを覚えています。

41 年間で振り返って、思いつままに書き始めると当時のことが昨日のように蘇り、そうだ、あの時はあであった。そんなこともあったよな。あの人達は今どうしているだろうか、などと色々思い出しては懐かしんでおります。

まだまだ書きたいことが山ほどあるのですが、またの機会で勝手な昔話を聞いて頂けたらと思いつつ、筆を置かせて頂きます。

歴代の会長、歴代の理事・監事各位、部会・委員会の各位、関係省庁・大学・業界団体の多くの方々を支えられて、41 年間で過ごさせて頂き、ほんとうに感謝の一言につきます。長い間ほんとうにありがとうございました。

これからは、工業会事業活動中期計画「V2020」の実践に基づき、パルプの重要性をより理解して頂くとともに、パルプ業界の地位の確立を目指して、工業会会員・事務局一丸となって邁進して頂くことを祈念申し上げて、終わらせて頂きます。脈絡のない一人よがりの昔話にお付き合い頂き、感謝申し上げます。



■新任挨拶

新・専務理事 濱崎 雅幸

6 月 9 日の総会と理事会にて、専務理事に就任いたしました 濱崎 雅幸です。

これまで、TOTO(株)にて、主として水栓に関する技術開発、品質保証やお客様対応、CS 推進の全社統括部門を担当してまいりました。その縁から、日本パルプ工業会では、東京支部、水栓部会の関連事業に 20 年ほど関わらせて頂いてきました。

これから、社会人第二ステージを、会員企業様、業界の発展と工業会活動の成果向上のため、熱意と誠意をもって、改革、改善の総意工夫を絶え間なく行い、永続的な工業会の活性化を進めます。

工業会としては、2020 年度までを視野に入れた中期計画「V2020」を策定。技術・技能の向上、人材育成、環境配慮と安全強化の推進、広報活動の推進に取り組んでいきます。それらの施策に注力できる体制づくりのために、運営会議を新設しました。組織ごとに施策と予算を連動し、運営会議では活動計画や進捗報告を求めていき、組織間の情報共有や、審議スピードアップも図っていきます。

さらに研修委員会、安全環境委員会を新たに設置し、多面的な視点での研修体系づくり、高齢者や女性が生き生きと働き続けられる労働環境の整備も進めていきます。

IoT、AI など将来にわたって必須となる課題についても経済産業省や先進事業の具体的事例を取り込み実践していける活動も進めます。

事務局業務の改善に関しては、業務アプリ構築サービスの導入、キャッシュレス化を行うなど業務の効率化もスタートしました。事務局ミーティングも取り入れ、スピード感を持って一丸で職員のモチベーションも向上させていきます。単なる事務・調整業務の枠を超え、会員企業にとって信頼される「コーディネーター」となることを目指します。

北九州からの転勤のため、単身赴任の身であります。せっかくの機会ですから東京単身生活も満喫し、公私ともに充実できればと思っています。

趣味はバンド活動です。担当はベースギターです。これからは前職の仲間たちと年 3 回ほどライブハウスで演奏会を企画しています。

まだまだ九州弁が抜けきらないのですが、57 年間の九州生活に免じ、ご容赦いただきたいと思います。

若輩者ではありますが、皆様のご指導、ご鞭撻のほど末永く宜しくお願い申し上げます。





会員ひろば ~ エッセイ No.6 ~

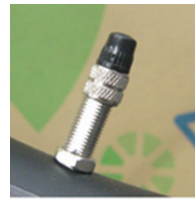
■バルブと私 (Vol. 3)

(株)清水合金製作所 橋岡 由男 常務取締役 技術本部長

3. 三つめのバルブ

三つめのバルブは、分類上間違いなく valve であるが日本バルブ工業会に属さない業界のバルブである。自転車のタイヤチューブに付属して圧縮空気を注入・封入するためのあれである。学生時代スキー仲間とシーズンオフに始めた趣味であるが、バイト代を注ぎ込んでオーダーしたのはランドナーと言われるカテゴリーの自転車で、電車に持ち込めるよう輪行スタイルに纏めたタイプ。この自転車のタイヤは不整地でも走れるようイチハチサンと呼ばれる 26in 径 13/8in 幅のもので英式バルブがついていた。友人と電車に乗せては金剛山、淡路島一周などを楽しんだが、道にはいろんなものが落ちていてどうしてもパンクは避けられない。自転車乗りは常に道具を携行しパンク修理には慣れておく必要がある。

バルブには英式、仏式、米式の 3 種類あってそれぞれ特徴がある。英式はママチャリなどの一般車に多く使用され普及しているが低圧用で空気圧調整ができない。仏式米式は圧力調整が可能でほとんどのスポーツ車には仏式が使用されている。米式は太くて丈夫なので BMX や自動車、オートバイに使用される。ロードバイクのようなスピードを求める場合、路面との転がり抵抗を小さくするため 20~25 mm の細いタイヤに 1MPa の高圧をバンバンにいれて使用する。



英式バルブ / EV
(ウッズ・ダンロップ)



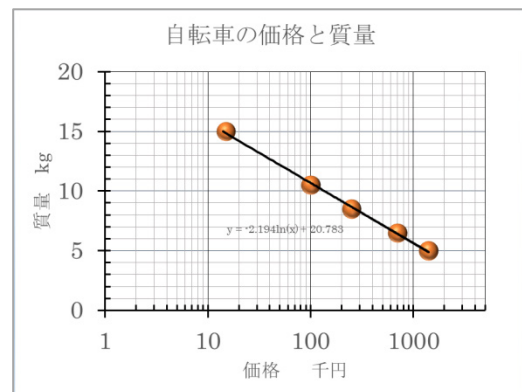
仏式バルブ / FV
(フレンチ・プレスタ)



米式バルブ / AV
(アメリカン・シュレッダー)

3.1 琵琶ーからヒルクライム

2011 年清水合金に転職したのを機に健康のため自転車を再開し、その年の 5 月に琵琶湖一周(北湖 175km)を 12 時間かけて走破。しばらくは琵琶湖沿岸でサイクリングを楽しんでいたが、車に横を超越されるのが怖くて嫌になり、次第に三重県境や岐阜県境の峠に向かって林道を走るのが楽しくなり、その延長でヒルクライムへのチャレンジを始めた。2014 年 6 月ツールド美ヶ原に 60 歳以上クラスで参戦。標高差 1270m 距離 21.6km を 2 時間 32 分 45 秒掛かって完走した。トップクラスの選手は 1 時間で走破するのでせめて 2 時間を切りたいと毎年チャレンジしているが、3 回目の 2016 年は 2 時間 06 分 47 秒でもう一息まで来た。2015 年からは標高 3000m の乗鞍ヒルクライムにも参戦、この時の記録は 2 時間 02 分 55 秒。登坂時間は物理法則に従うから、より早く上るためには私の体重+自転車の重量を軽くし、私の足の出力馬力を大きくすればよい。体重を減らすのにお金はかからないが、うっかりすると筋肉も落ちてしまい馬力を落としてしまう。一方、自転車の重量は強度を維持した状態で軽量化することはお金をかければ可能だ。走りに関係のない部品はすべて外し、より軽いパーツに変更して軽量化するがこれには相当なお金がかかる。経験から得た自転車の価格と重量の関係をグラフにしてみた。重量を減らすための投資は指数的に増加するのがわかる。2016 年の記録は自転車 6.5kg 体重 55.5kg での結果、これ以上自転車を軽量化するのは難しいので 2 時間を切るためには筋力を UP しつつ体重を 54kg まで落とさないといけない。また、頑張るか!!



経験値から見る自転車の価格と質量の関係



■会員ひろば



美ヶ原ゴール駐車場から松本盆地を望む



ハゲおやじになりましたが老老仲間と県境の石樽峠まで頑張りました



JCA 全日本ヒルクライムの美ヶ原と乗鞍岳の2016年参加賞 ハンドル部のヘッドパーツ

3.2 自転車とカメラ

登山、スキー、天文。そこにはいつもカメラがあり、趣味の世界をより豊かにしてきていた。自転車で走りながら写真が撮れないかなあいつも思っていたが、振動に強いアクションカメラが誕生し、これも実現できそうである。2017年は、乗鞍のダウンヒルの様子をアクションカメラに収め皆様にみて頂ければと企んでいる。



志賀高原—野沢温泉の林道を登る →

当会の広報活動について

すっかりお馴染みのバルブのイメージキャラクター「ばるちゃん」。あちこちでバルブのイメージアップのために奮闘中!!!

■「ゆるキャラグランプリ2017」に「ばるちゃん」がエントリー！(投票期間は8/1～11/10)

“ひこにゃん”や“くまモン”のような全国的な知名度を目指して「ゆるキャラグランプリ2017」にばるちゃんがエントリー。

1日1回なら何度でも投票できるので、まずはIDのご登録を。

■ゆるキャラグランプリ2017 オフィシャルサイト

<http://www.yurugp.jp/>



皆様の清き一票をお願いします!!!

エントリーNo.は「732」

毎日ポチッとよろしくね!



■各種イベントに「ばるちゃん」登場!!!



国土交通省で開催された「こども震が関見学デー」
8/2(水)・3(木)



↑ 石井啓一国土交通大臣と



会員企業の展示ブース前で。



「第49回 管工機材・設備総合展」
8/1(火)～3(木)
東京ビッグサイト

工業会活動報告 (2017 (H29) 年5月~7月)

理事会

・第17回理事会

2017-05-23(火) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 2016年度_決算報告及び事業報告承認の件
- (2) 2017年度_予算(最終案)承認の件
- (3) 2016年度_公益目的支出計画実施報告書承認の件
- (4) 第5回通常総会提出議案の最終確認について
- (5) 2017年度_若手社員研修会開催承認の件
- (6) 2017年度_会計監査業務委託承認の件
- (7) その他

- ・滋賀バルブ協同組合 30周年記念式典について
- ・合同支部役員クラスの交流の場の設置について

・第18回理事会

2017-07-25(火) 於:阪急ターミナルスクエア・17

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 第5回通常総会収支報告承認の件
- (2) 第6回通常総会(2018年)開催場所・日程承認の件
- (3) 賛助会員1社の入会承認の件

※第2回運営会議との並行開催

運営会議

・第1回運営会議

2017-05-23(火) 於:機械振興会館

出席者:16名

主要審議事項:

- (1) 競争法コンプライアンス強化について
- (2) 運営会議運営規程及び内規について
- (3) 第5回通常総会(6月9日開催)付議議案事項の確認について
- (4) 委員会・部会・支部活動報告について
- (5) その他

- ・若手社員研修会開催概要(案)について

・第2回運営会議

2017-07-25(火) 於:阪急ターミナルスクエア・17

出席者:16名

主要審議事項:

- (1) 第5回通常総会収支報告について
 - (2) 第6回通常総会(2018年)開催場所・日程について
 - (3) 賛助会員1社の入会について
 - (4) 委員会・部会・支部活動報告/計画等について
 - (5) その他
- ・経済産業省製造産業局素材材産業室長の交代について

バルブ部会

◎部会

2017-07-10(月) 於:機械振興会館

出席者:23名

主要審議事項:

- (1) 分科会構成見直しについて
- (2) JIS B 2003「バルブの検査通則」追補制定について
- (3) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)平成28年版改定へのコメントについて
- (4) 秋季見学会の開催について
- (5) 分科会活動報告
- (6) その他(各種報告)

◎工業用分科会

2017-05-19(金) 於:(株)キッツ大阪支社

出席者:12名

主要審議事項:

- (1) 競争法コンプライアンス遵守の強化について
- (2) 部会員からの新規加入希望の承認について
- (3) 関連市況動向について

◎電力用分科会

2017-06-15(木) 於:機械振興会館

出席者:14名

主要審議事項:

- (1) 競争法コンプライアンス遵守の強化について
- (2) 分科会構成員の見直しについて
- (3) 関連市況動向について

◎建築用分科会

2017-05-23(火) 於:機械振興会館

出席者:11名

2017-07-19(水) 於:東洋バルブ(株)大阪営業所

出席者:12名

主要審議事項:

- (1) 競争法コンプライアンス遵守の強化について
- (2) 関連市況動向について

自動弁部会

◎部会

2017-07-12(水) 於:大阪新阪急ホテル

出席者:18名

主要審議議題

- (1) 秋季見学会開催案について
- (2) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)平成28年版改定へのコメントについて
- (3) 若手半日ショッツアーについて
- (4) その他自動弁部会事業について

◎見学会(若手半日ショッツアー)

2017-06-28(水)

見学先:富士フィルム(株)神奈川工場小田原サイト

参加者:12名



水栓部会

◎見学会

2017-06-23(金) 於:岐阜県山県市/(株)オンダ製作所、
(株)水生活製作所

参加者:41名

◎懇親ゴルフ大会

2017-06-24(土) 於:岐阜県関市/岐阜関カントリー倶楽部

参加者:22名

◎幹事会

2017-07-11(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:8名

・部会議題事項について事前協議を行った。

◎部会

2017-07-11(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:26名

主要審議事項:

- (1) 2017年度 第1回 水栓部会 議事録確認
- (2) 2017年度 第1回 水栓部会 懇親会 収支報告
- (3) 2017年度 水栓部会 見学会について
- (4) 2018年 IWA(国際水協会)世界会議 展示会について
- (5) 海外視察について
- (6) 公共建築工事標準仕様書の改訂について
- (7) 若手社員研修会の実施結果について
- (8) 給水栓標準化小委員会 & 節湯 WG 審議報告
- (9) 保証小委員会審議報告
- (10) 技術小委員会審議報告

◎給水栓分科会

2017-07-11(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:17名

給水栓分科会関連事項について、協議した。

◎止水栓分科会

2017-07-11(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:9名

止水栓分科会関連事項について、協議した

◎給水栓標準化小委員会

2017-05-30(火) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:13名

2017-06-30(金) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:16名

2017-07-27(木) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:16名

主要審議事項:

- (1) JIS B 2061 の改正について
- (2) 浄水器関連 JIS について
- (3) 長住協基準の検討について
- (4) 節湯水栓基準の動向について
- (5) 建築物省エネ法に係る HP の掲載内容について
- (6) 電気用品安全法(電安法)の見直しについて

◎保証小委員会

2017-06-28(水) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:8名

2017-07-28(金) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 工業会 HP の水栓コンテンツの見直しについて
- (2) 水栓金具の安全確保のための表示に関するガイドライン見直しについて

◎技術小委員会

2017-06-15(木) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:13名

2017-07-10(月) 於:TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:15名

主要審議事項:

- (1) 国内外の有害物質規制動向とその対応について
- (2) 浸出性能基準の解釈について

広報委員会

2017-06-07(水) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 委員交代について
- (2) デジタルメディアを活用した PR 強化について
- (3) ホームページリニューアルについて
- (4) 展示会への着ぐるみ参加について
- (5) ゆるキャラグランプリへの参加について
- (6) 次回の学生懸賞論文コンテスト開催について

技術委員会

17-05-09(火) 於:機械振興会館

出席者:7名

17-07-04(火) 於:機械振興会館

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 環境 WG の審議状況報告
- (2) 若手社員研修会について
- (3) バルブ関連 国内・国際標準の動向について
- (4) 技術委員会の中期計画について
- (5) 見学会について
- (6) 技術研修会について

◎環境WG

2017-05-18(木) 於:機械振興会館

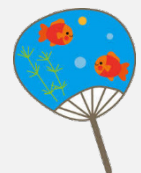
出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 会員アンケート集計結果について
- (2) 環境配慮バルブ登録制度の周知について
- (3) セミナー開催について

2017-07-20(木) 於:機械振興会館

出席者:7名



主要審議事項:

- (1) 中国版 RoHS パブリックコメント募集について
- (2) セミナー開催について
- (3) 環境配慮バルブ登録制度の周知について

バルブ技報編集委員会

17-06-02(金) 於:機械振興会館
出席者:4名

主要審議事項:

- (1) 通巻第79号特集企画について
- (2) 通巻第80号特集企画について

研修委員会

17-06-26(月) 於:機械振興会館
出席者:7名

主要審議事項:

- (1) メンバー会社の人財育成について
- (2) 高齢・障害・求職者雇用支援機構からのセミナー開催依頼について
- (3) 研修委員会の活動内容について

安全環境委員会

2017-07-18(火) 於:機械振興会館
出席者:6名

主要審議事項:

- (1) サンアクア TOTO(株)見学について
- (2) 全国産業安全衛生大会について
- (3) OHSAS18001 及び HSE マネジメントシステムについて
- (4) 会員企業における労働災害発生状況の把握について

調節弁規格作成委員会

◎調節弁規格作成委員会WG

17-05-22(月) 於:機械振興会館
出席者:8名

17-07-03(月) 於:機械振興会館

出席者:6名

主要審議事項:

- (1) JIS B 2005-8-4 の改正素案審議
- (2) JIS 改正原案(JIS B 2005-2-1/ JIS B 2005-2-4/ JIS B 2005-7)の審議

IEC 委員会

17-05-22(月) 於:機械振興会館
出席者:8名

17-07-03(月) 於:機械振興会館

出席者:6名

- (1) LOPs(List of Properties)の制定進捗について
- (2) IEC 60534 シリーズの国際投票について

ISO/TC153 国内委員会

17-07-18(火) 於:機械振興会館
出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 前回委員会からの活動状況について
- (2) 国際投票審議
- (3) 国際会議への対応

ISO/TC185 国内委員会

17-06-27(火) 於:機械振興会館

出席者:13名

主要審議事項:

- (1) ISO 4126 シリーズの JIS 規格化進捗について
- (2) ISO 4126 シリーズの国際投票について
- (3) API の動向について

講習会・説明会

◎若手社員研修会

17-07-05(水)~07-07(金) 於:機械振興会館

参加者:53名



支部だより

■支部総会

各支部において、次のとおり支部総会が開催された。

・東京支部

2017-06-09(金) 於:八芳園

出席者:29名

・東海支部

2017-05-31(水) 於:岐阜グランドホテル

出席者:13名

・彦根支部

2017-05-12(金) 於:やす井

出席者:12名

・近畿支部

2017-05-30(火) 於:大阪 新阪急ホテル

出席者:32名

東京支部

○役員会

2017-06-09(金) 於:八芳園

出席者:18名

主要審議事項:

- (1) 2017(平成29)年度東京支部総会開催要領および付議事項の確認について
- (2) 第5回通常総会開催要領および付議事項の事前審議について
- (3) 東京支部夏期研修会(2017.9.1(金))見学先について
- (4) 東京支部秋期会員総集會(2017.10.12(木))について
- (5) その他
 - ・次回東京支部役員会(於:九州)について

東海支部

○役員会

2017-07-26(水) 於:座座はなれ

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 支部研修会・懇親会(11月開催)について
- (2) 支部懇親ゴルフ会(10月開催)について
- (3) 新年賀詞交換会について
- (4) 本会第6回通常総会及び東海支部総会について
- (5) 東海支部賛助会員1社の入会について

○懇親ゴルフ大会

2017-05-31(水) 於:岐阜関カントリー倶楽部

参加者:14名

優勝:末松正幸氏(株KVK)

彦根支部

○役員会

2017-07-27(木) 於:支部会議室

出席者:9名

- (1) 平成29年度上期バルブ生産高について
- (2) 軟式野球大会結果について
- (3) 組合臨時職員採用について
- (4) 30周年記念誌「彦根バルブの歩み_その2」について
- (5) 30周年記念式典等について

○滋賀県立大学工学部1年生を対象とした特別講演
(滋賀バルブ協同組合主催・彦根支部協賛)

テーマ:「機械システム概論(彦根のバルブ産業について)」

2017-07-11(火) 於:滋賀県立大学

参加者:学生 約160名

講師:小野慎一氏(廣瀬バルブ工業株)

○新人・若手社員向け研修会

(滋賀バルブ協同組合主催・彦根支部協賛)

2017-07-13(木) 於:東北部工業技術センター

参加者:31名(内、彦根支部:22名)

○野球大会(滋賀バルブ協同組合主催・彦根支部協賛)

2017-05-21(日)/06-18(日)/06/24(土)

於:多賀町民グラウンド

参加:9チーム

優勝:清水工業(株)

近畿支部

○役員会

2017-07-25(火) 於:阪急ターミナルスクエア17

出席者:14名

主要審議事項:

- (1) 2017年度支部総会支出報告について
- (2) 近畿支部秋季会員集会(10月:見学会)開催について
- (3) 近畿支部懇親ゴルフ大会(10月)開催について
- (4) 近畿支部役員会(11月)開催について
- (5) 2018年新年互礼会実施要領(案)について
- (6) その他

・第2回運営会議報告

会員の動向

会員の入会

(賛助会員)

株新巧製作所(2017年8月1日付入会)

本社所在地:岐阜県山県市

主要取扱品:金属加工、ロウ付け加工、水栓の穴埋め・修理加工

代表者変更(敬称略)

・IMIジャパン(株)

2017年5月

代表取締役(Critical Engineering 事業部) 松尾 健一

代表取締役(Precision Engineering 事業部) 呂 敏

・ヨネ(株)

2017年6月 代表取締役社長 米田 哲三

・(株)日邦バルブ

2017年6月 代表取締役社長 菅原 博

移 転

栗本商事(株) 本社

移転先(2017年7月18日より)

〒550-0013 大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル
(代表電話) 06-7739-8054

お悔やみ

次の方がご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

(株)ケイヴイシー 取締役会長 小林 紘一 様

(2017年8月12日逝去。享年77歳)

■ ■ ■ 会員企業の皆様へ ■ ■ ■

地震、台風などの災害による**会社社屋への被害**や、製品の製造作業中に**死傷者がでる事故等**が発生した場合には、速やかに当会宛にご報告をお願いいたします。

(災害、事故によっては、国が必要な対策を講じなければならない場合もあるため、報告の速報性が重要となります)

2017年8月18日発行 ■ ■ ■ JVMA 通信 No.25 ■ ■ ■

(発行元) **一般社団法人 日本バルブ工業会**

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

